

富山市総合計画前期基本計画（案）

市民説明会概要

場 所 富山国際会議場 多目的会議室

日 時 平成18年11月12日（日）

午前10時～午前11時30分

1 開 会

2 部会長挨拶

中村潤い部会長あいさつ

今回策定している富山市の総合計画は、7市町村の合併後初めての総合計画であることから、広大な市の一体感の醸成を図りながら、超高齢社会の到来や人口減少などの諸課題へどのように対応していくかが重要と考えている。

富山市総合計画審議会では、5つの部会を設置して基本計画（案）の内容を審議しているところであるが、本日は、市民の皆さんからも多くの意見をいただき、今後のまちづくりに活かしたいと考えている。

3 説 明

前期基本計画（案）について説明

4 質疑応答

（市 民） 合併により市域が広がったことに伴い、地域格差も広まることが懸念される。例えば、下水道施設や消・融雪施設の整備面において地域格差がないよう努力してほしい。

（市 民） 子育て環境の充実の一環として、子どもが少ない市中心部の幼稚園と保育園を一体化させた施設を、統合した小学校跡地に整備できないか。

（事務局） 幼保一体の取り組みについては、文部科学省と厚生労働省がそのあり方などについて検討しているところであり、市としても試験的な取り組みを行っているところである。国の方針が具体化した段階で対応を図りたい。

（市 民） 高山本線沿線のまちづくりなどは、コンパクトなまちづくりを進める上で効果があると思う。

人口の密集地である五艘地区等の市民生活の便宜を図るため、新たな駅は設置できないか。

また、地区から鉄道の踏み切り付近の改善要望を出したとき、JR・国・県・市の縦割りが強く、担当以外の内容があるに対応してくれない。

(部会長) 協働によるまちづくりを進めるためには、行政・企業も含めて様々な主体が施策の実現に向かって連携し何らかの役割を担っていくことが重要であると考えている。

(市民) 公園の整備について、ある河川敷では、とりあえずパークゴルフ場を整備したようだが、子どもや若者、お年寄りまで全ての人が見える公園となるよう構想をしっかりと立てたうえで施設の整備に取り組むべきである。

(事務局) 河川敷を活用した公園整備については、潤い部会の「水辺環境の保全・育成」という施策で対応していきたい。

(市民) 岩瀬スポーツ公園は立派な公園だが、スポーツでの利用のほか、犬の散歩で訪れる市民も多い。中には、糞の片付けをしない人も目立つ。
モラルの低下が原因ではあるが、ペット連れの市民に便利なペットランドのような場はつくれるか。

(市民) 介護費用の負担増が心配されているが、今後増加する高齢者が集える場所の整備はしないのか。
また、母親が働きやすい環境整備のため、児童館の整備を望む声が多いがどのように対応するのか。
記述のことで、「超高齢」とあるが「超」という表現は、高齢者に圧迫感を与える表現ではないか。

(事務局) 介護予防について、今後は住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域密着型のサービス拠点を整備することとしている。
児童館は今後新たに整備する予定はないが、放課後児童健全育成事業や地域児童健全育成事業などで対応したい。
高齢の進展の度合いにより、高齢化の進展、高齢社会、超高齢社会というふうに表示を使い分けている。行政が使い分ける用語であるが、施策では高齢者に圧迫感を与える表現はないと考えている。

(市民) 市民に期待する役割でいろいろ記載されているが、私の町内では既に自分たちの地域は自分たちでよくするための自主的な活動が行われている。

その一部である、街路樹の落ち葉の片付けは地区では積極的に実施しているので、市ではその収集に便宜を図ってほしい。

災害時の避難について、指定されている避難場所までは距離があるので、地域独自の判断だが、一刻を争うときは近くの3階建ビルへの避難も視野に入れて地域の防災体制を整えている。

(市民) 町内の祭りでは獅子舞を実施しており、これは、世代を超えて人々が集まり協力し合って運営する意義のある行事であるが、祭礼用具の維持には経費がかかり、地域の負担が大きい。

祭りは基本的には地域住民の力でやるべきだが、維持するためには行政の支援が必要な部分もある。

伝統ある祭りなどを選び、集中して支援してほしい。

(市民) 指標が示されているが、その数値を達成した場合、例えば金沢や東京のようになるのか。

計画全体の印象として、縮小傾向を止める程度で、活気をつけて市全体の様々な活動を拡大させる計画とは思えない。例えば今後の国際化の進展をにらんで「外国人村」をつくるなど全国にアピールできるものはないのか。

(市民) 統合した小学校の跡地について、地区の意見をまとめた要望を市に提出したが、市は構想がなく跡地利用の内容について回答できないとしている。

構想ができてから地区から要望を出しても遅いのではないのか。

(事務局) 平成20年には統合校が開校するので、跡地についての構想も固まっていると思うが、その策定過程では地元の意見を伺いながら方向をまとめていくべきであると考えている。

(部会長) これをもって説明会を終了しますが、本日の発言以外に意見があれば、事務局に提出してください。

5 閉会

参集した市民 約80名